

エコアクション21

環境活動レポート

運用期間

2025年4月～2026年3月

2026年07月11日発行

2026年08月25日修正版発行

対象範囲 本社・事務所、川崎支店、



豊かな自然を未来へ引き継ぐ。



黒田興業株式会社

目次

1	組織概要	1
2	対象範囲	3
3	機械の処理能力	3
4	関連許認可・許可品目	4
5	中間処理フロー	5
6	実施体制	6
7	組織図	7
8	環境経営方針	8
9	環境経営目標に対する実績と評価	9
10	環境経営目標 2023年度	13
11	環境経営活動計画に対する評価及び 次年度の取組内容	17
12	環境関連法規等取りまとめ	18
13	代表者による全体評価と見直し	21

1. 組織概要

- ① 事業者名及び代表者名
黒田興業株式会社 代表取締役 黒田 知憲
- ② 事業内容
金属スクラップの購入、金属スクラップの加工、加工後の金属原料の販売、
産業廃棄物処理業（収集・運搬、中間処理）、
一般廃棄物処理業（収集・運搬、中間処理）
- ③ 所在地
- | | |
|--------|---|
| 本社・事務所 | 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目20番3号コエル渋谷13階
TEL 03-6455-3472 FAX 03-6455-3473
URL https://www.r-kic.co.jp/ |
| 川崎支店 | 〒210-0852 神奈川県川崎市川崎区鋼管通5-6-1
TEL 044-366-3111 FAX 044-366-0442 |
| 太田支店 | 〒373-0826 群馬県太田市古戸町1244
TEL 0276-38-0570 FAX 0276-38-5635 |
| 日立那珂支店 | 〒311-0102 茨城県那珂市向山1225-2
TEL 029-295-2012 FAX 029-295-5409 |
- ④ 事業規模
- | | |
|-------------|--|
| 法人設立年月日 | 昭和22年9月23日 |
| 資本金 | 4,000万円 |
| 売上高（全社） | 4181百万円（令和7年度） |
| 売上高（川崎支店） | 1441百万円（令和7年度） |
| 売上高（太田支店） | 1582百万円（令和7年度） |
| 売上高（日立那珂支店） | 1158百万円（令和7年度） |
| 従業員数 | 58人（令和8年7月1日現在） |
| 敷地面積 | 27,986㎡（全社） |
| 内訳 | 本社 109㎡
川崎 5,716㎡
太田 10,140㎡
那珂 12,021㎡ |
- ⑤ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
- | | |
|---------|--------------------------------------|
| 環境管理責任者 | 古屋敷 正人 |
| 連絡先 | TEL 03-6455-3472
FAX 03-6455-3473 |

⑥ 設備一覧（対象事業所 川崎支店、太田支店、日立那珂支店）

＜川崎支店＞

加工処理機械

オートマチックプレス機 1基
 1,000 tマウントシャー 1基
 1,250 tギロチンシャー 1基
 4.5t天井クレーン(リフマグ) 1基
 7.5t天井クレーン(リフマグ) 1基
 7.5/7.5t天井クレーン(リフマグ・グラブ) 1基

重機

ショベルローダー 1台
 油圧ショベル 2台

運搬車両

8 t 車 1台 ユニック
 8 t 車 1台 アームロール
 8 t 車 1台 平ボディ
 4 t 車 1台 アームロール 計4台

＜太田支店＞

加工処理機械

100馬力オートマチックプレス 1基
 150馬力オートマチックプレス 1基
 200馬力800tマウントシャー 1基
 7.5/7.5t天井クレーン(リフマグ・グラブ) 1基
 10t天井クレーン(リフマグ) 1基
 7.5t天井クレーン(リフマグ) 1基
 4.95t/4.95t天井クレーン(リフマグ・グラブ) 1基

重機

ショベルローダー 2台
 油圧ショベル 2台
 フォークリフト 1台

運搬車両

4 t車 3台
 6 t車 1台
 8 t車 2台
 11t車 3台
 12t車 3台
 トレーラー 1台 計13台

＜日立那珂支店＞

加工処理機械

1,250馬力乾式シュレッダー 1基
 400馬力プレシュレッダー 1基
 12t天井クレーン(リフマグ) 1基
 10t/5t天井クレーン(リフマグ・グラブ) 1基
 200馬力800 tマウントシャー

重機

ショベルローダー 2台
 油圧ショベル 2台
 フォークリフト 2台

運搬車両

15 t 車 1台 ヒアブ
 10 t 車 1台 ヒアブ
 5 t 車 1台 ヒアブ
 トレーラー 2台
 15t車 1台 平ボディ
 4 t 車 2台 アームロール
 4 t 車 1台 平ボディ 計10台

- ⑦ 処理料金
金属は基本的に有価になります。産業廃棄物は処理料金を頂きます。金額については種類、量、形態によって異なります。

⑧ 事業の規模（全社）

活動規模	単位	年度		
		2025年	2024年	2023年
売上高	百万円	4,181	4,603	5,134
従業員	人	58	57	60
敷地面積	m ²	27,986	27,986	27,986
金属スクラップ購入量	t	80,491	81,296	86,386
産業廃棄物収集運搬量	t	754	1,014	857
産業廃棄物中間処理量	t	3,143	3,252	4,161

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

◆ 対象事業所

本社・事務所

東京都渋谷区道玄坂一丁目20番3号コエル渋谷13階

川崎支店

神奈川県川崎市川崎区鋼管通5-6-1

太田支店

群馬県太田市古戸町1244

日立那珂支店

茨城県那珂市向山1225-2

3. 機械の処理能力（中間処理業の能力）

川崎支店

品目	処理機械	処理方法	処理能力
廃プラスチック類	1,250 t ギロチンシャー	破砕処理	20t/日
ガラスくず	1,250 t ギロチンシャー	破砕処理	90t/日
金属くず	1,250 t ギロチンシャー	破砕処理	198t/日
金属くず	オートマチックプレス機	圧縮処理	12.2t/日

日立那珂支店

品目	処理機械	処理方法	処理能力
金属くず、廃プラスチック類 金属くず	1,250馬力乾式シュレッダー	破砕処理	240t/日

太田支店

品目	処理機械	処理方法	処理能力
廃プラスチック類	800 t マウントシャー	切断処理	11.2t/日
ゴムくず	800 t マウントシャー	切断処理	18.8t/日
金属くず	800 t マウントシャー	切断処理	118.4t/日
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	800 t マウントシャー	切断処理	45.6t/日
金属くず	オートマチックプレス機	圧縮処理	67.8t/日

4. 関連許認可・許可品目

◆産業廃棄物処分業

都道府県・政令市	許可番号	取得日/ 有効期限	許可品目
川崎市	第5720038805号	1999/4/1 2029/5/31	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず 以上3種類
群馬県	第01020038805号	1998/5/18 2028/5/17	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず ・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上4種類
茨城県	第0821038805号	1997/4/24 2027/4/23	廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類

◆産業廃棄物収集運搬業

都道府県・政令市	許可番号	取得日/ 有効期限	許可品目
神奈川県	第1402038805号	1996/4/3 2031/4/2	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴム くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶 磁器くず、鉱さい、がれき類 以上9種類
群馬県	第01000038805号	1998/3/17 2028/3/16	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属 くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 、鉱さい、がれき類 以上8種類
茨城県	第0801038805号	1997/5/22 2027/5/21	廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類
埼玉県	第01104038805号	1998/4/1 2028/3/31	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属 くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 、鉱さい、がれき類 以上8種類
栃木県	第0900038805号	2003/5/1 2028/4/30	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず ・コンクリートくず及び陶磁器くず以上4種類
千葉県	第1200038805号	1999/7/15 2029/7/14	廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類
東京都	第1300038805号	2002/4/1 2027/3/31	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属 くず、ガラスくず・コンクリート・陶磁器くず、がれ き類 以上7種類

◆一般廃棄物処分業

都道府県・政令市	許可番号	取得日/ 有効期限	許可品目
群馬県太田市	11	2025/11/1 2027/10/31	ごみ（金属くず・廃プラスチック類・ゴムくず・ コンクリートくず及び陶磁器くず）
茨城県那珂市	那珂市指令464号	2025/7/3 2027/7/2	一般廃棄物（不燃・粗大）

◆一般廃棄物収集運搬業

都道府県・政令市	許可番号	取得日/ 有効期限	許可品目
茨城県那珂市	那珂市指令463号	2025/7/3 2027/7/2	ごみ（可燃・不燃・粗大）

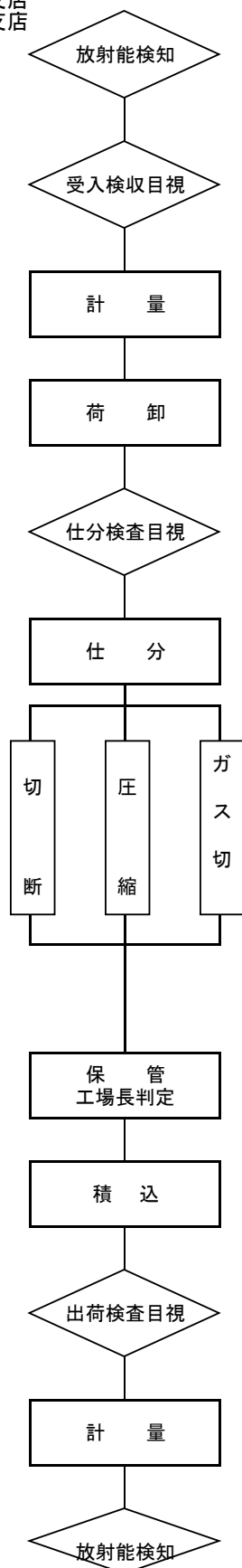
◆破碎業（自動車リサイクル） 茨城県 第20085002198号 取得2004/7/1 期限2029/6/30

◆古物商 神奈川県 第452510500038号 取得1993/8/25

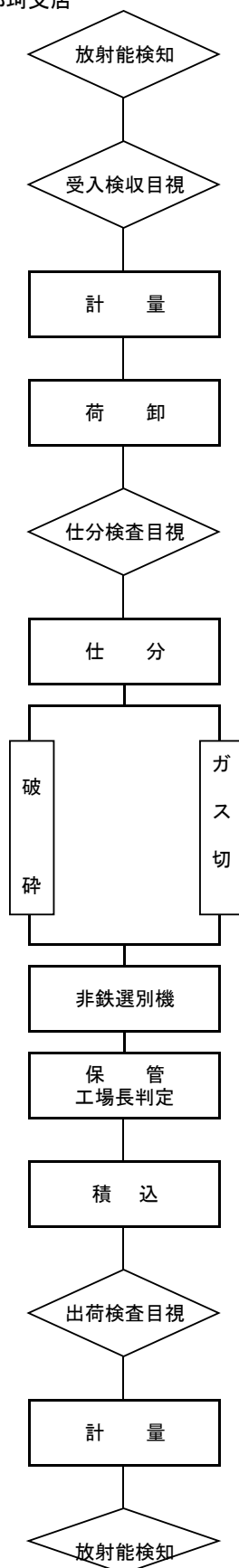
◆第一種フロン類回収業者 茨城県 第12460号 取得2004/7/1 期限2027/6/22

5. 中間処理フロー

川崎支店
太田支店

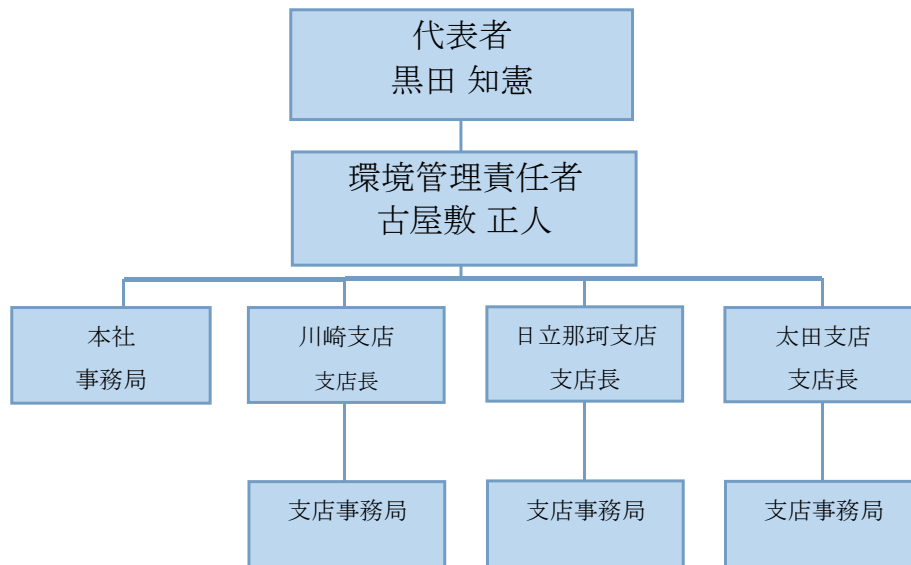


日立那珂支店



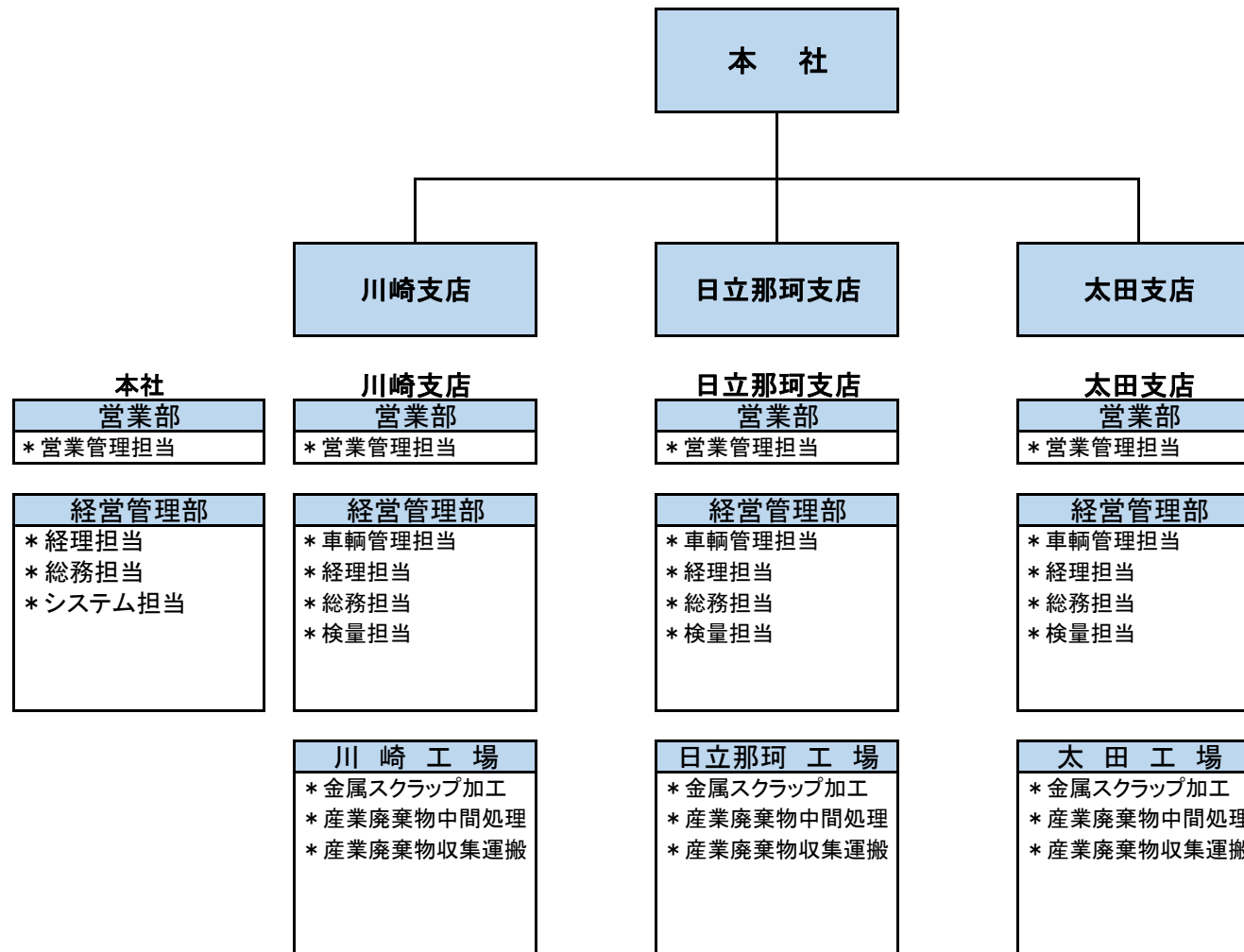
実施体制

黒田興業株式会社 エコアクション21組織図



役割分担

組織名称	役割、責任
代表者	環境管理責任者の任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の決定 環境経営システムの構築・実施及び管理に必要な資源の準備 環境経営システムの定期的見直しの実施 環境経営目標及び環境経営計画の承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理の継続的改善 環境経営システムの代表者への報告 環境経営目標及び環境活動計画の策定 環境関連文書の記録作成、管理 関連法規の取りまとめ表の維持
各事務局 (事務責任者)	環境管理責任者の補佐 環境経営システムに関する事務、記録作成 関連法規の順守状況の確認
本社 営業部員・ 経営管理部員	本社における環境経営システム活動に参加 環境経営目標のための活動(コピー用紙削減、エコドライブ、グリーン購入)を実施する
各支店責任者	支店における環境活動の運用 環境経営目標の実施事項に対する問題点・是正処置を実施 支店における記録の作成と管理
各支店 営業部員・経営管 理部員 工場従業員	支店の環境経営システム活動に参加する 環境経営目標のための活動(省電力、産業廃棄物の分別、コピー用紙削減、エコドライブ、グリーン購入)を実施する



8.環境経営方針

環 境 経 営 方 針

<基本理念>

「鉄の生命を繋ぐことは地球の生命を守ること」

を基本コンセプトに、全ての事業活動において、従業員一人一人が環境保全活動に取り組み、環境を守ることが地域社会に貢献するという理念のもと、人と自然の豊かな未来を目指します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守致します。
2. 当社の事業活動が環境に影響を与える以下の項目に取り組みます。
 - ①省エネルギー推進
 - ②電気・水道・ガソリン等の使用量削減
 - ③グリーン調達の推進
3. 深刻なごみ問題に取り組む為、より繊細な廃棄物の分別およびリサイクルの推進経営に取り組めます。
4. 全従業員がこの方針に従い、各事項に対し積極的に環境管理活動を展開します。
5. 全従業員に、この環境経営方針を周知徹底するとともに、自社のホームページに掲載社会に公表いたします。

令和 元 年 10 月 1 日

黒田興業株式会社
代表取締役

黒田知憲

9.環境経営目標に対する実績と評価

原単位の算定には本社は全社仕入数量を用い、工場はそれぞれのヤード数量を用いる

今期目標	2022年度より3%削減	※二酸化炭素排出係数 株式会社アイグリッドソリューションズ 2019年 調整後排出係数 0.365kg・CO2/kWh 現在は購入会社を変更しCO2フリーメニューを購入しておりますが、実際に排出する量の把握と削減をするため、過去の排出係数を維持して数値の可視化をしています。
中期目標	2022年度より3年で3%削減	
※2%減の値はこの色		
※実績はこの色		

◆サイトの仕入数量(ヤード仕入)

項目	サイト	単位	2022年	2023年	2024年	2025年
サイト仕入数量	川崎	t	32,200	32,114	30,117	31,563
サイト仕入数量	太田	t	31,773	31,747	30,476	28,406
サイト仕入数量	日立那珂	t	22,696	22,525	20,703	20,522
サイト仕入数量	全社	t	63,973	63,861	60,593	59,969

◆本社事務所 二酸化炭素排出量の低減、水使用量、紙使用量の低減
本社はヤードがないので総量で比較。

総量で比較

赤は未達

項目	対象		2022年 (基準年) 実績	2024年 実績	2025年 実績		基準値 ※下記記載	2025年度 目標	2025年 実績		評価
		単位	総量	総量	総量	単位	総量	基準値 -1%、-3% ※下記参照	総量	達成率	
二酸化炭素排出量	本社事務所	kg-CO2	3,239	4,549	5,227	kg-CO2	4,549	4,504	5,227	86.2%	×
電気使用量	本社事務所	kWh	8,873	12,464	14,321	kWh	12,464	12,339	14,321	86.2%	×
水使用量	本社事務所	m ³	44.0	34.0	40.0	m ³	44.0	42.7	40.0	106.7%	○
一般廃棄物処分量	本社事務所	kg	291.4	328.7	356.8	kg	328.7	325.4	356.8	91.2%	×
プリンタ使用量	本社事務所	枚	24,622	27,515	20,783	枚	24,622	23,883	20,783	114.9%	○

※CO2、電気、一般廃棄物は2024年度比 -1%

※水、プリンタは2022年度比 -3%

◆川崎支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

赤は未達

項目	対象		2022年 (基準年) 実績	2024年 実績	2025年 実績		基準値 (2022年実績)	2025年度 目標	2025年 実績		評価
		単位	総量	総量	総量	単位	原単位	基準値3%減 ガソリンのみ2023 年比2%減	原単位	達成率	
二酸化炭素排出量	川崎工場	kg-CO2	345,339	340,743	343,875	kg-CO2/t	10.725	10.403	10.895	95.5%	×
電気使用量	川崎工場	kWh	626,263	584,140	599,763	kWh/t	19.449	18.866	19.002	99.3%	×
ガソリン使用量	川崎工場	ℓ	1,998	870	900	ℓ/t	0.0173	0.01697	0.0285	59.5%	×
軽油使用量	川崎工場	ℓ	40,608	45,742	44,893	ℓ/t	1.261	1.223	1.422	86.0%	×
ガス使用量	川崎工場	kg	2,450	2,500	2,350	kg/t	0.0761	0.0738	0.0745	99.1%	×

ガソリンに関しては2023年の総量が極端に少なく(556ℓ)で今年の総量が倍近くの900ℓなので2024年と2025年の数字が実体を伴っている。

他は未達ではあるが過去から削減していて目標が難しくなっている事を感じる。

◆太田支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

赤は未達

項目	対象	2022年 (基準年) 実績		2024年 実績	2025年 実績	単位	基準値 (2022年実績)	2025年度 目標	2025年 実績	達成率	評価
		単位	総量	総量	総量			基準値3%減	原単位		
二酸化炭素排出量	太田工場	kg-CO2	436,416	425,028	411,251	kg-CO2/t	13.735	13.323	14.478	92.0%	×
電気使用量	太田工場	kWh	382,911	368,263	351,297	kWh/t	12.051	11.690	12.367	94.5%	×
ガソリン使用量	太田工場	ℓ	3,299	3,165	2,351	ℓ/t	0.1038	0.1007	0.0828	121.7%	○
軽油使用量	太田工場	ℓ	109,690	107,237	106,308	ℓ/t	3.452	3.349	3.742	89.5%	×
ガス使用量	太田工場	kg	2,000	2,200	1,100	kg/t	0.0629	0.0611	0.0387	157.7%	○

ガソリンとガスは目標達成された。他の項目は未達であった。扱い数量が10%下がったのが原因と思われる。

◆日立那珂支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

赤は未達

項目	対象	2022年 (基準年) 実績		2024年 実績	2025年 実績	単位	基準値 (2022年実績)	2025年度 目標	2025年 実績	達成率	評価
		単位	総量	総量	総量			基準値3%減	原単位		
二酸化炭素排出量	日立那珂工場	kg-CO2	572,181	579,505	576,358	kg-CO2/t	25.211	24.454	28.085	87.1%	×
電気使用量	日立那珂工場	kWh	878,002	870,012	829,330	kWh/t	38.685	37.525	40.412	92.9%	×
ガソリン使用量	日立那珂工場	ℓ	1,432	1,766	2,567	ℓ/t	0.0631	0.0612	0.1251	48.9%	×
軽油使用量	日立那珂工場	ℓ	95,577	98,798	102,596	ℓ/t	4.211	4.085	4.999	81.7%	×
ガス使用量	日立那珂工場	kg	600	985	1,000	kg/t	0.0264	0.0256	0.0487	52.6%	×

昨年ガスの使用量が上がったが今年も同じ位の総量であった。次年度の基準値に活かしたい。

ガソリンもガスと同様増えているので基準値に増えたものを基準として目標建てを実施する。

他は未達であるがもう少しである事から新たな基準で目標建てる。

◆全社 二酸化炭素排出量の実績 次年度より活用

※本社は総量で比較の為、全体合計に含めるだけ

赤は未達

項目	対象	2022年 (基準年) 実績		2024年 実績	2025年 実績	単位	基準値 (2022年実績)	2025年度 目標	2025年 実績	達成率	評価
		単位	総量	総量	総量			基準値3%減	原単位		
二酸化炭素排出量 全社まとめ	本社事務所	kg-CO2	3,239	4,549	5,227	-	-	-	-	-	-
	川崎工場	kg-CO2	345,339	340,743	343,875	kg-CO2/t	10.725	10.403	10.895	95.5%	×
	太田工場	kg-CO2	436,416	425,028	411,251	kg-CO2/t	13.735	13.323	14.478	92.0%	×
	日立那珂工場	kg-CO2	572,181	579,505	576,358	kg-CO2/t	25.211	24.454	28.085	87.1%	×
	合計	kg-CO2	1,357,175	1,349,826	1,336,711	kg-CO2/t	21.215	20.578	22.290	92.3%	×

未達ではあるが全体的に後一步である。基準年からの3%が難しいが頑張りたい。

合計欄は各支店総量の合計を各支店の仕入数量の合計で除している。

◆水使用量の低減（ヤードの仕入数量当たり）

※本社は総量で比較の為、全体合計に含めるだけ

赤は未達

項目	対象		2022年 (基準年) 実績	2024年 実績	2025年 実績		基準値 (2022年実績)	2025年度 目標	2025年 実績		評価
		単位	総量	総量	総量	単位	原単位	基準値3%減	原単位	達成率	
水使用量	本社事務所	m ³	44	34	40	-	-	-	-	-	-
	川崎工場	m ³	642	819	868	m ³ /t	0.0199	0.0193	0.0275	70.3%	×
	太田工場	m ³	561	342	391	m ³ /t	0.0177	0.0171	0.0138	124.4%	○
	日立那珂工場	m ³	1,505	1,504	1,490	m ³ /t	0.0663	0.0643	0.0733	87.7%	×
	合計	枚	2,752	2,699	2,789	m ³ /t	0.0430	0.0417	0.0465	89.7%	×

合計欄は各支店総量の合計を各支店の仕入数量の合計で除している。

太田の達成が目立った。基準年が過去比較して高かった事も要因でした。

◆紙使用量(ヤードの仕入数量当たり)

※本社は総量で比較の為、全体合計に含めるだけ

赤は未達

項目	対象		2022年 (基準年) 実績	2024年 実績	2025年 実績		基準値 (2022年実績)	2025年度 目標	2025年 実績		評価
		単位	総量	総量	総量	単位	原単位	基準値3%減	原単位	達成率	
プリンタ使用量	本社事務所	枚	24,622	27,515	20,783	-	-	-	-	-	-
	川崎工場	枚	25,237	29,790	23,829	枚/t	0.7838	0.7602	0.7550	100.7%	○
	太田工場	枚	20,126	22,902	21,317	枚/t	0.6334	0.6144	0.7504	81.9%	×
	日立那珂工場	枚	29,466	27,991	26,925	枚/t	1.2983	1.2593	1.3120	96.0%	×
	合計	枚	99,451	108,198	92,854	枚/t	1.5573	1.5106	1.5484	97.6%	×

太田が若干低いと全体で見るとほぼ達成まできている3%減目標を考えると

合計欄は各支店総量の合計を各支店の仕入数量の合計で除している。

大変ではあるが新しい基準値で頑張りたい。

◆自社排出廃棄物の削減(ヤードの仕入数量当たり)

※本社は総量で比較の為、全体合計に含めるだけ

赤は未達

項目	対象	2022年 (基準年) 実績		2024年 実績	2025年 実績	単位	基準値 (2022年実績)	2025年度 目標	2025年 実績	達成率	評価
		単位	総量	総量	総量		原単位	基準値3%減	原単位		
一般廃棄物処分量	本社事務所	kg	291.4	328.7	356.8	kg/t	-	-	-	-	-
	川崎工場	kg	410.4	410.4	410.4	kg/t	0.01275	0.01236	0.01300	95.1%	×
	太田工場	kg	421.2	550.8	540.0	kg/t	0.01326	0.01286	0.01901	67.6%	×
	日立那珂工場	kg	829.4	932.0	1,103.0	kg/t	0.03654	0.03545	0.05375	66.0%	×
	合計	kg	1,952.4	2,221.9	2,410.2	kg/t	0.03057	0.02966	0.04019	73.8%	×
項目	対象	2022年 (基準年) 実績		2024年 実績	2025年 実績	単位	基準値 (2022年実績)	2025年度 目標	2025年 実績	達成率	評価
		単位	総量	総量	総量		原単位	基準値3%減	原単位		
産業廃棄物処分量	川崎工場	t	997	932	711	kg/t	30.967	30.038	22.526	133.3%	○
	太田工場	t	257	184	173	kg/t	8.097	7.855	6.090	129.0%	○
	那珂工場	t	1,514	1,043	1,122	kg/t	66.714	64.713	54.673	118.4%	○
	合計	t	2,769	2,159	2,006	t/t	43.277	41.979	33.451	125.5%	○

一般廃棄物は基準値を変更して運用していきたい。

合計欄は各支店総量の合計を各支店の仕入数量の合計で除している。

産廃は大幅に達成されている。そもそもの総量が大きく落ちている。目標を変更して達成できるか頑張りたい。

10. 環境経営目標 2025年度

当社の2026年度(2026年4月～2027年3月)における環境経営目標を以下に示す

原単位の算定にはヤードの仕入数量、本社は全社のヤード仕入数量を用いる

◆本社、川崎支店、太田支店、日立那珂支店 目標

今季目標	基準年2025年度 より 1%削減
中期目標	基準年2025年度 より 3年で3%削減

◆本社事務所 二酸化炭素排出量の低減

総量を基準年1%削減 (※ヤードの仕入数量当たり)

項目	対象	単位	2025年度		総量		
			総量(基準値)		2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
					基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
二酸化炭素排出量	本社事務所	kg-CO2	5,227	→	5,175	5,122	5,070
電気使用量	本社事務所	kWh	14,321	→	14,178	14,035	13,891
水使用量	本社事務所	m ³	40.0	→	40	39	39
一般廃棄物処分量	本社事務所	kg	356.8	→	353	350	346
プリンタ使用量	本社事務所	枚	20,783	→	20,575	20,367	20,160

◆川崎支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

項目	対象	単位	2025年度		原単位		
			原単位 (基準値)		2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
					基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
二酸化炭素排出量	川崎工場	kg-CO2/t	10.895	→	10.786	10.677	10.568
電気使用量	川崎工場	kWh/t	19.002	→	18.812	18.622	18.432
ガソリン使用量	川崎工場	ℓ/t	0.0285	→	0.02822	0.02793	0.02765
軽油使用量	川崎工場	ℓ/t	1.422	→	1.408	1.394	1.379
ガス使用量	川崎工場	kg/t	0.0745	→	0.0738	0.0730	0.0723

◆太田支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

項目	対象	単位	2025年度
			原単位 (基準値)
二酸化炭素排出量	太田工場	kg-CO2/t	14.478
電気使用量	太田工場	kWh/t	12.367
ガソリン使用量	太田工場	ℓ/t	0.0828
軽油使用量	太田工場	ℓ/t	3.742
ガス使用量	太田工場	kg/t	0.0387

→

→

→

→

→

原単位		
2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
14.333	14.188	14.044
12.243	12.120	11.996
0.0820	0.0811	0.0803
3.705	3.667	3.630
0.0383	0.0379	0.0375

◆日立那珂支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

項目	対象	単位	2025年度
			原単位 (基準値)
二酸化炭素排出量	日立那珂工場	kg-CO2/t	28.085
電気使用量	日立那珂工場	kWh/t	40.412
ガソリン使用量	日立那珂工場	ℓ/t	0.1251
軽油使用量	日立那珂工場	ℓ/t	4.999
ガス使用量	日立那珂工場	kg/t	0.0487

→

→

→

→

→

原単位		
2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
27.804	27.523	27.242
40.008	39.604	39.200
0.1238	0.1226	0.1213
4.949	4.899	4.849
0.0482	0.0477	0.0472

◆水使用量の低減（ヤードの仕入数量当たり）

項目	対象	単位	2025年度
			原単位 (基準値)
水使用量	川崎工場	m ³ /t	0.0275
	太田工場	m ³ /t	0.0138
	那珂工場	m ³ /t	0.0726

→

→

→

原単位		
2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
0.0272	0.0270	0.0267
0.0137	0.0135	0.0134
0.0719	0.0711	0.0704

◆紙使用量（ヤードの仕入数量当たり）

項目	対象	単位	2025年度
			原単位 (基準値)
プリンタ使用量	川崎工場	枚/t	0.7550
	太田工場	枚/t	0.7504
	那珂工場	枚/t	1.3120

→

→

→

原単位		
2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
0.7475	0.7399	0.7324
0.7429	0.7354	0.7279
1.2989	1.2858	1.2726

◆ 自社発生廃棄物の削減（ヤードの仕入数量当たり）

項目	対象	単位	2025年度	原単位		
			原単位 (基準値)	2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
一般廃棄物処分量	川崎工場	kg/t	0.01300	→ 0.01287	0.01274	0.01261
	太田工場	kg/t	0.01901	→ 0.01882	0.01863	0.01844
	那珂工場	kg/t	0.05375	→ 0.05321	0.05267	0.05213
項目	対象	単位	2025年度	2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
			原単位 (基準値)	基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
産業廃棄物処分量	川崎工場	t/t	22.520	→ 22.295	22.070	21.844
	太田工場	t/t	6.074	→ 6.013	5.953	5.892
	那珂工場	t/t	54.682	→ 54.135	53.588	53.042

◆ 産業廃棄物の収集運搬処分における環境配慮の目標

- ・粉塵を抑制
- ・放射性物質の混入防止
- ・騒音振動を測定

◆ 当社は化学物質の使用はありません。

11.環境経営活動の評価及び次年度の取組内容(環境経営活動計画見直し)

項目	実施内容(手段)	担当者	評価	備考	次年度 取組
二酸化炭素排出削減 ギロチンシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように 目視徹底	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 マウントシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように 目視徹底	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 天井クレーン(電力)	目視による重量物の判断。 マグネットで無理なら玉掛け	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 スクラッププレス(電力)	投入物の目視徹底、フィルター清掃	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 乾式シュレッダー(電力)	投入物の目視徹底	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 油圧ショベル(軽油)	低回転での作業、軽油の使用量管理	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 フォークリフト ショベルローダー(軽油)	急発進、エンジンのふかし禁止 軽油の使用量管理	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 営業車、トラック (ガソリン、軽油)	アイドリングストップ、エコドライブ 車両の点検・整備 ガソリン・軽油の使用量管理 エコドライブ配布資料	営業社員	○	実施されている	継続
二酸化炭素排出削減 事務所	観葉植物の栽培	古屋敷	○	順調に生育している	継続
二酸化炭素排出削減 事務所(電力)	エアコンの温度適正管理	古屋敷	○	温度計購入し監視した	継続
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	事務所 紙、缶、ペットボトルの分別徹底	古屋敷 支店長	○	実施されています。	継続
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	現場 鉄、非鉄、ダストの分別徹底	工場長	○	実施されています。	継続
水使用量の削減 節水	無駄にしないように周知徹底 標語等の表示、洗濯はまとめて行う	古屋敷	○	実施されている	継続
紙使用の削減 コピー用紙の削減	裏紙利用促進し徹底 印刷ミスをなくすように確認	古屋敷	○	実施されている	継続
グリーン購入の推進	エコマーク等、環境に配慮された製品を積極 購入する	古屋敷	○	実施されている	継続
製鋼原料の品質向上	持ち込まれた金属の分別を徹底する事で 外部にダスト付着物を出さず、 異物引きを抑える	支店長	○	実施されている	継続
生活環境の改善 粉塵の飛散防止	定期的に散水、床清掃機で粉塵が舞わないよう 元から断つ	支店長	○	実施されている	継続
生活環境の改善 振動、騒音	外壁による音の遮断、5時以降の運転を控える 騒音振動の自主測定による現状把握	古屋敷	○	川崎 2026/3/24 実施 太田 2025/11/11 実施 那珂 2026/3/16 実施	継続
生活環境の改善 廃油雨水の流出	油水分離槽の定期チェック及び、油流出時は 吸着マット等対応	支店長	○	実施されている	継続
生活環境の改善 火災爆発事故防止	消火器点検、危険物混入の目視チェック	支店長	○	川崎 2025/9/30 2026/3/10 実施 太田 2025/5/17 2025/11/22 実施 那珂 2025/6/14 2025/12/9 実施	継続
生活環境の改善 放射性物質混入防止	L型ゲートモニタで監視、機械が反応した場合 ハンディタイプのメーターで混入物特定。 特定後適切に処理(返品等)	工場長	○	実施されている	継続
環境保全活動の指示	定期的にトレーニング、目的目標の周知 地域住民から苦情のないよう徹底する。	古屋敷 支店長	○	実施されている	継続

化学物質の取扱い無し

12. 環境関連法規等取りまとめ 順守状況の確認及び違反等の有無

当社に適用となる環境関連法規を以下にとりまとめます。
過去1年間違反、訴訟等はありませんでした。

川崎支店

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例施行規則	騒音規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2026.3.24 実施
	振動規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2026.3.24 実施
浄化槽法	年1回の保守点検及び清掃 2か月点検の実施	点検表確認	工場長	点検表
消防法	指定数量以上の危険物を貯蔵し、 又は取り扱う者 【当社危険物】 第4類第4石油類 6000ℓ以上 有 危険物取扱所として申請 1200ℓ以上、6000ℓ未満 少量危険物取扱所	設置状況の目視	工場長	都度
川崎市規則 危険物の規制に関する 細則第15条	危険物施設を休止、再開する場合に7日前に届 出が必要	現在休止中 2029年8月22日	支店長代理 工場長 環境管理 責任者	日付の 確認

太田支店

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
騒音規制基準 太田市告示第142号	騒音規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2025.11.11 実施
振動規制基準 太田市告示第145号	振動規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2025.11.11 実施
太田環境チャレンジ協定	環境マネジメントシステムの構築 公害防止対策の一環として 騒音振動を自主測定し市に提出	EA21に順ずる	支店長	-
消防法	指定数量以上の危険物を貯蔵し、 又は取り扱う者 【当社危険物】 第4類第4石油類 6000ℓ以上 無 1200ℓ以上、6000ℓ未満 有 少量危険物取扱所	設置状況の目視	工場長	都度

日立那珂支店

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
那珂市環境基本計画 (騒音規制法 振動規制法 に準ずる)	騒音規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2026.3.16 実施
	振動規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2026.3.16 実施
使用済自動車の再資源 化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	破砕業者の登録 5年毎の更新	期限 2029/6/30	環境管理 責任者	都度
消防法	指定数量以上の危険物を貯蔵し、 又は取り扱う者 【当社危険物】 第4類第4石油類 6000ℓ以上 無 1200ℓ以上、6000ℓ未満 有 少量危険物取扱所	設置状況の目視	工場長	都度

共通

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
道路交通法	運転者酒気帯びの有無確認 道路交通法施行規則第9条の10第6号関係 令和4年4月1日施行 (アルコールチェック義務化)	点検記録確認	支店長	点検表
	酒気帯びの有無確認の記録 道路交通法施行規則第9条の10第7号関係 令和4年4月1日施行 (アルコールチェックの点検表1年保存)	点検記録確認	支店長	点検表
フロン排出抑制法	3か月ごとの簡易点検の実施	点検記録確認	支店長	点検表
	第1種特定製品引取実施者(2020年4月より)	引取証明書 3年保管	支店長	-
	第1種フロン類引渡受託者 委託確認書の交付を受ける	委託確認書 3年保管	支店長	-
水質汚濁 防止法	油の漏洩の防止	油対応手順	工場長	点検表
	事故時の対応と報告	事故報告書	支店長	-
グリーン 購入法	事業者の環境物品等の取組	グリーン製品の 積極購入	支店長	-
家電リサイクル法 (特定家庭用機器再商品化法)	家電リサイクル法の対象機器 ブラウン管・液晶・プラズマ式テレビ、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン	受入れ時の 確認徹底	支店長	都度確認
	排出する時は、対象機器の再商品化等が確実に実施されるよう小売業者等に適切に引き渡し、収集・再商品化等に関する料金の支払いに応ずる	排出時の 確認徹底	支店長	都度確認
小型家電リサイクル法	小型家電リサイクル法の対象機器 施行令第1条に於ける28品目の受入れ除外 28品目は別表参照	受入れ時の 確認徹底	支店長	都度確認
	第7条 事業者は、その事業活動に伴って生じた使用済小型電子機器等を排出する場合にあっては、当該使用済小型電子機器等を分別して排出し、第十条第三項の認定を受けた者その他使用済小型電子機器等の収集若しくは運搬又は再資源化を適正に実施し得る者に引き渡すよう努めなければならない	排出時の 確認徹底	支店長	都度確認
電気事業法	電気事業法第42条第1項に規定する保安 規程の遵守義務 保安規定に則り定期点検を実施する	業者の実施結果 を保管する	工場長	点検表
古物営業法	第7条第1項 役員の変更 第7条第4項 許可証書換 役員の変更の際、14日以内に届出 履歴事項全部証明 住民票必要	届出	環境管理 責任者	順守確認
自動車NOx・PM法	八都県を走行するときにNOx・PMに係る適合 車で走行する	車検証にて確認	環境管理 責任者	順守確認

共通

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	提出の確認 毎年6月頃	支店長	提出済
	廃棄物は自らの責任で適正に処理する	案件毎の マニフェスト表確認	支店長	順守確認
	廃棄物の委託基準等を順守する	許可の状況確認	支店長	順守確認
	保管場所に掲示板(60cmx60cm)を設置	設置状況の目視	支店長	順守確認
	委託先の許可証の確認	契約の都度確認	支店長	順守確認
	委託契約書の締結	契約の都度	支店長	順守確認
	廃棄物管理表(マニフェスト)の交付・保管・戻り 状況、保管状況の確認	案件毎の マニフェスト表確認	支店長	順守確認
	産業廃棄物保管場所の確認 積上げ高さ確認	定期的に確認	支店長	順守確認
	産業廃棄物 収集運搬業、処分業 許可期限確認	許認可確認表 にて随時確認	支店長	順守確認
	野焼き禁止、不法投棄の禁止	定期的な教育	支店長	順守確認
	水銀使用製品産業廃棄物の保管場所には、 仕切りを設ける措置を取る	設置状況の目視	支店長	順守確認
	水銀使用製品産業廃棄物の運搬時は緩衝材で 保護しドラム缶に入れて運搬する 【運搬許可自治体】 栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県、千葉県、 東京都、神奈川県 【許可品目】 廃プラスチック類、金属くず、ガラス陶磁器くず	運搬時確認	支店長	順守確認
使用済自動車の再資源 化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	自動車所有者 使用済となった自動車を引取業者に引き渡す 再資源化等預託金を資金管理人に対し預託 すること	購入時の確認 廃車時の確認	支店長	都度
高圧ガス保安法	高圧ガスを貯蔵又は消費する者 災害が発生し たとき又は容器を喪失し、又は盗まれた時は遅 滞なくその旨を知事又は警察官に届ける	様式58号 一般 様式59号 LPG	支店長	都度

代表者による全体評価と見直し 12要求事項⑮

実施日: 2026.7.10

評価者: 代表取締役 黒田知憲

項目	報告内容	代表者の評価コメント
環境経営方針	環境方針より 見直しの必要性	変更なし
実施体制	実施体制より 見直しの必要性	変更なし
環境経営目標	環境目標・実績より 結果の報告	中期目標の期間が終わった ので新目標を設定する
環境経営 計画	環境活動計画の内容より 内容報告	変更なし
環境法規	環境関連法規等の順守状況 の確認及び違反等の有無より 結果の報告	法規関係は常に最新のもの にし違反の無いよう注意をす る
その他	-	-

代表者のコメント

SDGs、環境活動への取組ありがとうございます。
未達の部分はありますが毎年下げるのは難しい事がわかります。
今年度は目標値を新たにしますので達成若しくは現状維持していけるように頑張っていきましょう。